

合同研修会への期待

松江市医師会理事 貴谷 光

介護保険制度が発足して十年以上が経過しました。介護保険制度発足前は、政府から情報が小出しにしか出てこず、全体像を把握することは困難でした。医師会も旧八束郡との合併を目前に控えた松江市を中心とする広域行政組合と共にシミュレーションや研修会を行い、介護保険制度開始に対して様々な準備を立ち上げてきました。

介護保険制度が何とか軌道に乗ったのは、当時の関係者の方々が優秀でしかも熱意と努力を惜しまれなかったことにあると思います。新たに発足するこの制度を失敗させてはいけないといった気迫のようなものを私は感じていました。

発足当時の熱気が収まるにつれて、介護保険制度の持つ問題点が徐々に露わになってきました。その一つが、「要介護者の掘り起こし」でした。別の言葉で言えば、需要創出になるのでしょうか。多くの企業が参入し利潤追求に向かえば当然の帰結かもしれません。「介護保険制度を維持可能にするために」という理由で、介護度1が、8割の要支援2と2割の介護度1に分割され、さらに保険料が値上げされたのでした。

また、発足当時はなかった様々な動きが出てきました。例えば認知症への対応です。医師会でも研修会が開かれるようになり、グループホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅、軽費老人ホームなど

が新設されるようになりました。

そうした動きの中で、「従来は個別に対応していたケアマネと医師の間で研修会を開いて、相互理解を深めて円滑に仕事ができるようにしよう。」という話が医師会の理事会で提案されました。提案者は当時副会長だった野津立秋先生でした。

医師会側の担当に私が指名され、以後交互に担当して合計6回の合同研修会を開催しました。初回は想像以上の多数の参加者でほっと胸をなで下ろした記憶があります。第7回から、医師会側担当理事が松嶋先生に代わり、文字通りの合同開催の研修会になりました。

合同研修会の最大のメリットは医師とケアマネが忌憚なく意見を言える場所であることに尽きると思います。医師会側からの参加が多くなり心苦しく思うときもありますが、是非、今後もお互いにこの研修会を盛り上げていきたいと考えています。今後とも、宜しくお願いいたします。



島根県ケアマネジャー研究大会を終えて

松江地域介護支援専門員協会・研究チーム代表 足立 新之介

第12回島根県ケアマネジャー研究大会が「それぞれの地域で血の通った地域包括ケアを」というテーマで、平成26年10月4日（土）、5日（日）の2日間にわたって松江市の島根県民会館で開催されました。

研究大会では、鷲見よしみ氏（日本介護支援専門員協会・会長）・高野龍昭氏（東洋大学ライフデザイン学部生活支援学科・准教授）の基調講演、塩飽邦憲氏（島根大学理事・副学長）の市民公開講座、各圏域での研究発表がありました。

松江圏域でも、今回の大会に向けて研究チームを発足し、松江の特徴は何かを考え、そこで「有料老人ホーム等が近年増加している」ことにスポットをあてて研究してまいりました。

この研究で、「入居して良かった」という話を聞いたということが多くあるということがわかり、やはり有料老人ホーム等は必要であることが数値で理解できたことは収穫でした。しかし反面、有料老人ホーム等の料金設定やサービス内容が不透明であることや、入居することによるケアマネジャー交代等による利用者の心的負担があることも同時にわかり、ケアマネジャーとしてどのようなかわりをもつことが利用者の負担が軽減できるのか、というような課題も同時にいただいたと思います。今後、ケアマネジャー交代の際の工夫や入居してからの地域とのかかわりや生活の

質について等、質の向上に向けての課題は多くあると感じました。



松江地域協会研究チームの発表

有料老人ホーム等は、これからも利用する方々にとってはとても重要な役割をしていくことと思います。今後、今現在入居されている方やこれから入居される方々の住まいが変わっても、住まい方に本人の意思を尊重しながら生活できる支援を目指していきたいと思います。

会員の皆様をはじめ、松江市内の全居宅介護支援事業所に所属されている皆様にはアンケートという形で協力いただいたこと、松江市介護保険課の方にも現在の有料老人ホーム等の現状についての資料や助言をいただいたこと、その他今回の研究に携わっていただいた皆様全員に、この場を借りて感謝の気持ちを伝えたいと思います。本当にありがとうございました。今回の研究に関しては、これで終わることなく今後も引き続き行ってまいりますので、どうかよろしく願いいたします。

スマイルケア



福祉用具のレンタル
販売・住宅改修のことなら

スマイルケア宍道事業所
松江市宍道町白石 81-10
TEL 0852-66-3900

スマイルケア松江事業所
松江市西法吉町 36-28
TEL 0852-32-0294

株式会社 原商

真
明るい
ありがとう
心
で介護をお手伝いする



福祉用具レンタル・販売・住宅改修

ジョイ・ケア たいよう 松江店

介護保険事業者番号 3270103090
〒699-0408 松江市宍道町昭和22
TEL 0852-67-3291
FAX 0852-67-3292

医師とケアマネジャーの合同研修会に参加して

居宅介護支援事業所 絆 中 林 浩 子

10月23日にいきいきプラザで行われた「第9回 医師とケアマネジャーの合同研修会」に参加してきました。

今回は「終末期における多職種連携」～医療プラン・ケアプランの立て方～がテーマとなっており、在宅での看とりについて2種類の事例を基にグループワークが行われました。

私は12グループで、症例2の75歳の男性が誤嚥性肺炎で入院を繰り返し経口摂取が難しくなっているという事例を基にグループワークを行いました。

今回が初めての参加だったことと、ケアマネジャーの経験の浅さから緊張のあまりガチガチになっていましたが、グループワークが進むにしたがってご本人やご家族の思いを大切にするという根本的なところは職種に関係なく同じなのだと感じ、自分なりに必要だと思うサービスについて話す事ができました。

ケアプランの立て方では職種による着眼点の違

いを感じる事が出来、医療系のサービスの導入の必要性についても勉強になりました。積極的な治療を目指すのか身体的負担の軽減を目的とするのかによって、医療的な支援の方法は違って来る為ご本人やご家族の決断がとても重要になってきますが、支援をする私たちにとって重要なのは、状況が変わるごとに揺れ動くご本人やご家族の気持ちにより添い、その決断を尊重し思いを共有することなのだ改めて感じました。

ご本人やご家族それぞれの思いを大切にしてお見取りを支えていきたいと思っております。



医師とケアマネジャーはもちろん、訪問看護や行政も参加した研修会となりました

働くあなたを支援! 困ったときのお手伝いサービス

- ・家事代行サービス(日常のお掃除)
水廻り清掃、お部屋の掃除、洗濯、片付け等の家事援助
- ・洗濯代行サービス(ランドリーパック詰め放題)
日常の洗濯物を回収し、水洗い、乾燥、折りたたみ等を代行し宅配

☎0120-137-656

アイカム 株式会社 松江市長江町902-53



福祉用具・介護用品の店

げんき堂



本店 ☎692-0011 安来市安来町 1083

☎0854-22-3652 FAX 0854-22-4222

松江店 ☎690-0012 松江市古志原3-7-31

☎0852-28-6041 FAX 0852-28-6045

サービス付き高齢者向け住宅 花きりんハウス 東出雲



介護力!!

〒699-0111 松江市東出雲町意宇南5-4-1
TEL:0852-67-5010 FAX:0852-67-5011
ホームページ: <http://hanakirin.net>



らくらくタイコー

福祉用具レンタル・販売・住宅改修・
セーフティホーム 24

松江市北田町 63 番地 4
TEL0852-22-3553 FAX0852-22-3555

「入院時カンファレンスの大切さを知ろう」研修に参加させていただいて

平成26年9月20日に松江赤十字病院にて開催された研修に参加させていただきました。私はケアマネジャー業務をさせていただくようになってから、ちょうど1年がたったばかりで、知識、経験ともに乏しく、医療との連携については特に敷居が高いと感じ、苦手意識を持っていました。恥ずかしながら、担当する方が入院されたら、基本情報を提供し、病院からも情報収集をしながら、退院が近づけばカンファレンスやサービスの調整をすればいいのだろうという感覚でした。

今回の研修を受け、病院の相談員や病棟看護師の方と直接話し合いをさせていただく中で、今まで情報提供していたものは、中身が簡潔すぎて、病院が求めている内容とは少しギャップがあったことに気づかされました。実際に情報提供書だけでは情報量が少なく、実際の在宅でのご様子を伝えきることはできません。また、病院側も入院患者の全部を把握することは難しいのが現状だと伺いまし

松南第2地域包括支援センター 花井 みゆき

た。退院までの期間を短くしていかなければいけない流れの中で、スムーズに退院し、その後の生活を支援していくために、病院側、ケアマネ側が互いに必要な情報を選択して提供しあい、入院時から連携を図っていく必要があると感じました。これからは情報提供の仕方を工夫し、なるべく病院にも足を運ぶようにして、連携を図っていきたいと思います。

また、こういった多職種の方と顔が見える機会があると、直接いろいろなご意見を伺うことができ、顔見知りの関係となることのできることで、大変感謝しております。これからも研修に参加させていただき、知識を深めながら、いろいろな方とお話しをさせていただきたいと思っております。ありがとうございました。



ケアマネジャーとの合同研修会に参加して

担当ケースの患者が退院直後に再入院となったりすると、私の退院支援が充分でなかったのではないかと、落ち込むことがあります。当院は急性期病院の為、昨今の在院日数短縮化の波は著しく、短期間での退院支援を余儀なくされ、それが在宅への準備不足やケアマネジャーの方との連携不足に起因するのではないかと、思い悩むことも少なくありません。

9月20日に行われた、松江地域ケアマネジャー協会と当院との合同研修会、「知っていますか？入院時カンファレンスの重要性」は、ケアマネジャーの皆さんと当院の看護スタッフ・MSWあわせて110名の参加があり、現状の退院支援について不全感を感じていた私にとって収穫の多い充実した研修となりました。



病院ではありがちなシーンを再現した冒頭のDVD視聴、同僚が行った入院時カンファレンスの説明は、ケアマネジャー、当院のスタッフ

松江赤十字病院 角田 ゆかり

の双方に共通の課題を提示した形となり、その後、一つのテーブルをはさみ在宅・病院それぞれの立場で意見をかわすグループワークでは「入院時カンファレンスが広まると良い」「やはり入院時カンファレンスが必要」など活発な意見をよびました。私も議論に参加して、入院時から、当院スタッフと在宅・施設スタッフが、ともに「患者が退院後にどのような生活を送るのか」「患者・家族・施設がどのようなことで困る可能性があるのか」という、患者の生活イメージを共有し、具体的な対策を立案していくことの大切さをあらためて認識しました。私自身、入院時カンファレンスを経験したことがなかったため、これまで感じていた支援への不全感解消の一助になるのではないかと期待も膨らみます。

この度の研修では、普段言葉をかわす機会が少ない病棟の看護スタッフとケアマネジャーの皆さんが交流する良い機会となり、双方の「架け橋？」でもある私たちMSWにとっても非常に有益な時間となりました。「顔が見える連携」はこうしてはじまっていくのでしょうか。いろいろご迷惑をかけることも多いですが、今後ともよろしく願います。ありがとうございました。

全国介護タクシー協会会員

車椅子タクシー

ほのか

病院や施設、お買い物の送迎に御電話お待ちしております。

〒699-0203

島根県松江市玉湯町布志名637-96

TEL 0852-62-2206 FAX 0852-62-2306

福祉用具の

やまさと

レンタル
販売
住宅改修



有限会社 山本梱包 福祉サービス事業部

〒690-0021 松江市矢田町 474-9

TEL 0852-24-3563 FAX 0852-24-3534

インタビュー * 野津先生に聞きました *



野津 立秋氏
野津医院院長
松江市医師会会長

～とあるケアマネ協会広報部会での会話～

広報部長)医療との連携、研修の記事も大切だけど、趣向の違ったネタ記事とか何かある?
部員)うーん、じゃあ、医師会の先生にインタビューとかどうでしょうか?医師会会長先生!ドーン!とか、面白くないですか?
広報部長)ははは。確かに面白いかもしれないけど、流石に話が飛躍し過ぎじゃない?、え?本気で?
そんな流れで早くもシリーズ第二弾です。今回は、松江市医師会会長の野津立秋先生に突撃インタビューしてきました!
プライベートのご様子や、ケアマネジャーに対する想いなどを伺ってきました。(°Д°)!!

ケアマネ (以下ケ) 通常の業務に加え、協会活動や、行政、他団体との会合など、ご多忙の事と思います。休日などはどのようにリフレッシュされているのでしょうか?

野津先生 (以下野) 最近は日曜日にも仕事が入る事が、会合も多い時は一週間で7回とかね (笑)。いわゆる自由な時間が非常に少なくなりましたね。だけど、時間が無いからむしろ時間を有意義に使えます。「ちょっと買物いこう。」とかね。「忙中閑あり」その通りだと思いますね。仕事に追われている方がどちらかというと好きです。身体がそういうリズムに慣れて、リズムが崩れると体調が崩れたりするかもね。だけど、やっぱり、仕事の依頼があるときは仕事しなきゃ。いずれ、仕事をしたくても「もういいです。」って言われる時がくるからね (笑)

ケ)……なるほど、パワーの秘訣は忙しさにあるんですね!すごい!朝は早起きなんでしょうか?

野)……朝は7時くらいですかね。犬の散歩がありますからね。それが僕の家の中での唯一の仕事だから (笑) 犬はずっと飼っています。数年前までオールドイングリッシュシープドッグというので、後ろに写真があるでしょ?これはウチの子と一緒に写真。大きいでしょう?45kgありました。大きいからしっかり躰しないと、自由に動かせたら大変ですよ (笑)。今はシェットランドシープドッグを飼っていますね。可愛いですよ。犬は裏切りませんからね (笑)

ケ)……犬を飼ってらっしゃるんですね。ずっと続けている趣味のようなものは他にもあるのでしょうか?

野)……歌は好きですね。聴くのと歌うのと半々くらいかな。みなみらんぼう!知らんでしょう? (笑)。その他に、ゴルフは好きですね。あと、自転車。大根島を走るんですよ。ここ(医院)から出て、22kmをぐるっと左回りで家に帰ってくる。元々、剣道をやりましたが、どれも今は忙しくて時間がとれなくなりましたね。

ケ)……スポーツマンなイメージですが、そもそも先生が医者を目指すきっかけになったエピソードなどがあるのでしょうか?

野)……昔の話なんだけどね、ある夜、親父と一緒にテレビを見てたんだ。そうしたら往診の依頼があつてね、親父が出て行くわけだ。僕が「仕事だからしょうがないよね。」って言ったら親父が「仕事だったらやらないよ。」って言ったんだよ。初めはよく分からなかったんだけど、そういう生き方もあるのかって思ったね。元々好きだったんだろうけど、医者になろうと思ったのは父のそういうふうな姿を見て、在宅を目指そうと思ったのは20年以上前に入浴サービスを始めたことが一番の要因かな。たぶん入浴サービスを始めたの、日本で僕が一番最初じゃないかな。

ケ)……20年前に入浴サービスですか?

野)……介護保険が始まる前からもちろん往診してたけど、1988年くらいかな?このころまだ在宅医療って言葉は無いんだけど、往診で行くと夏場は部屋は臭い汚い。どうにかしないとイケない!と思って入浴サービスを始めたんだ。浴槽になる板を折りたたんだものを持って行って、部屋で組み立てるわけだ。「何時に行きますから。」って伝えといてお湯を用意してもらっておいてね。そうしたら非常によろばれて、しばらくさせてもらったね。そのうちに介護保険が始まって、移動車でお風呂に入れてくれる時代になったから僕は止めたんだけど、当時は非常に好評だったよ。

ケ)……その当時から訪問入浴サービスの必要性を感じていらっした?

野)……その頃、医療機関のいわゆる行政指導を受けたことがあります。その時に入浴サービスの事は非常に怒られました。それは先生の趣味でやるんだから、往診でとるな!と言われて。それでも行政というやりとりして、やり続けたんだけど。だから、他の人に比べて介護保険に対する期待が非常に大きいし、また、ある意味での落胆も大きい。介護保険は現場を知らない人が作ってるという感じがするね。

ケ)……先生の在宅にける強い想いが伝わってきます。最後に、松江地域のケアマネジャーに向けて一言お願いします。

野)……医師とケアマネの研修会も、最初はこんなに上手くいくとは思わなかった。皆、だいぶ悩んでるんですよ。どうして良いか分からなくて、自分でやることが正しいことなのか不安なんです。医師とケアマネジャーがいろいろとやりながら、自分が「連携って良いな」って感じなきゃね。だから、よく話して、時々飲んで (笑)、愚痴言って。必要だと思いますよ。我々は医療のことは分かるんだけど、介護のことは素人でしょう?病気は診てたけど、家族をみてなかったということがあるんです。例えば、長男夫婦が看てて、東京に娘さんがいて、意見が合わない。やっぱりあれはケアマネがもっと頑張るべきだと思うし、大切な仕事だと思うよね。だから家族の情報も教えてほしいし、医療の事を「先生はこう言ってたけど、実はこんな事なんだよ。」って、かみ砕いた説明もしてくれるとかさ。ケアマネから得る情報って非常に大きいし、やっぱり、ケアマネはもっと表に出ないとイケないと思うね。(以上)

～インタビューを終えて～

インタビューをしながら、野津先生の在宅医療・在宅介護にける強い想いが伝わってきました。ケアマネジャーとの連携についても、とても前向きに取り組まれており、一人のケアマネジャーとして大変心強く感じました。ご多用中に関わらず、とても丁寧にに応じていただきました。野津先生、ありがとうございました。

～第二回 行政とケアマネ協会との意見交換、親睦会について～

医療・介護の一体改革として、平成27年の介護保険改正では地域包括ケアに向けた検討がすすめられています。平成26年8月7日 松江市役所において、第二回行政と介護支援専門員協会との意見交換会が開催されました。日常的な連携強化に止まらず、今後の介護予防事業について、松江市における介護保険制度策定についても積極的な意見交換ができました。

行政としては、第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定に向けて、現場の意見を活かしたいとの意向です。また、意見交換会の後に親睦会を設け、ざっくばらんに交流を深める機会となりました。

行政とケアマネジャーとがガッチリと手を組んで、松江地域の皆さんに喜んで頂けるような介護保険制度をつくりましょう！

～松江地域介護支援専門員協会より松江市へ要望書を提出いたしました～

平成26年8月に松江市内のケアマネジャーの皆さんにお願いした、アンケートの結果を役員会で検討致しました。検討したものを平成26年8月25日に「松江地域介護支援専門員協会からの要望」として松江市長に提出致しました。

内容としては

- 1、人工透析患者の方の通院の手段について
- 2、医療依存度の高い方の移送手段について、また、利用料金について

- 3、介護保険の限度額超過の場合の特別給付について
 - 4、インフォーマルサービスの充実について
 - 5、認知症の方の徘徊の対応について
- などを要望しております。

今後も松江地域介護支援専門員協会は皆さんの声を行政につなげていく活動をしていきたいと思っております。

今後ともご協力をよろしくお願い致します。

◆事務局からのお知らせ◆

日頃から当協会の活動にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、協会費の納入についてお知らせいたします。現在振込をされている方で次年度から口座引き落としを希望される方は「預金口座振替申込書」が事務局（花きりんハウス東出雲）にありますのでご連絡ください。

ご不明な点等ありましたら事務局までご連絡ください。

今後も会員の皆様にとって有意義な職能団体であるように活動してまいりますので、よろしくお願いいたします。

編集後記

「来年の事を言えば鬼が笑う」と言われますが、考えない訳にもいきませんよね。平成27年度社会保障制度改革の医療・介護一体改革について「医療から介護へ」「施設から在宅へ」の方向性で、「地域包括ケアシステム」の完成に向けて話が進んでいます。松江市においても第6期の高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定に向け検討されているところです。あー、来年もバタバタしそう（´ω`）って、なっちゃんいますよね。

師走のあわただしい頃ですが、そんな時こそ「ゆっくりと、じっくりと、今年一年を振り返るためだからしょうがないのよ!」と自分に言い聞かせて、お茶でも飲みながら一息ついてみませんか？

今年も一年ありがとうございました。よいお年をお迎えください。

